

## 1、 本園の教育目標

幼児の心身共に健やかな成長発達を願って、幼児の主体的活動としての遊びを十分に確保し、一人ひとりが遊びを通して興味関心を持ち、試したり考えたりする過程を大切に教育を目指している。また幼児期にふさわしい生活を展開されるよう適切な環境を用意し、教師との信頼関係に支えられた生活、友達と充分関わって展開する生活がなされるように配慮した教育を目指している。

## 2、 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・ 昨年度同様告知なしの避難訓練を実施し教職員園児ともに避難の手順を理解し有事の際にも進んで避難でき自分自身を守る意識を高めていけるようにする。保護者とも連携し一緒に避難訓練を行うことで子ども達の見守りに繋げたい。
- ・ 出来る限り研修や講演会に進んで参加することで新任・若手・中堅教諭を育成するとともに教諭全員が自己研鑽に励む。また和やかで温かい人間関係を構築する。
- ・ 園内研修では、ビデオ撮影をし、終了後担任もクラスの個々の姿から理解と課題を得ることができるので、忌憚のない考えや意見を出し合うことで互いに学びあい、翌日からの指導に繋げていく。
- ・ 、遊びこめる場の設定や廃材の提供を工夫する。また子どもの自然発想を大切に考え、今この遊びに必要なものを瞬時に感じ取り提供できるよう遊びの展開を見守る。
- ・ 遊びの発想が展開できるような室内環境を構成し、遊び込める場の設定を考え、廃材、自然物、小石、砂などあらゆる素材を使うことが出来るよう工夫する遊び、考える遊びを展開することにより、子どもの主体的な遊びを十分に展開できるようにする。
- ・ 安全管理・衛生管理・怪我の対応・体調不良児の早期発見に努め、子どもも保護者も安心できる環境づくりおよび配慮を再度確認していく。
- ・ 保護者アンケートを引き続き実施し、子どもの育ちの把握およびさまざまなニーズを確認することで本園としての今後のビジョンを検討していく。
- ・ 園庭解放の取り組みその他の子育て支援を充実させていく上で必要な手立てを考えていく。
- ・ 特別支援教育のあり方を常に教職員と考えあい、支援の必要な子どもを園全体で共通理解し、個に応じた支援を考えていく。
- ・ カリキュラムの一部変更に伴う流れや変化に対する教職員の共通理解が得られたのでいっそう保護者の安心を得るよう対応を考えていく。

## 3、 評価項目の達成および取り組み状況

| 評価項目       | 取り組み状況  |
|------------|---|
| 実際に即した避難実践 | 告知なしの状況下での避難訓練が出来なく悔いが残ったが、今年度は防災教育（防災ビデオ、防災ゲーム）を数回行い津波、豪 |

|                       |  |
|-----------------------|--|
|                       | <p>雨、地震、雷などに関心が高まった。</p> <p>地域、消防士、保護者の来園を得て全体訓練を行い、前年度消防士から指導を受けた点を改善出来た。(所要時間計測、避難後の見回り、報告) また地域の方の参加が得られたことは園児が喜び、ともに思いやりをもって訓練に参加でき、防災意識を高めることが出来た。</p>  |
| 新任・若手教諭の育成<br>および園内研修 | <p>園長による日案のチェック、立案の仕方および保育への助言、記録や分構成の仕方についても指導し翌日に生かさせた。</p> <p>園内研修ではビデオ活用で自分自身の日常の保育を客観的に捕らえ見落としや個々の子どもの詳細な動きや見落としに気づくことで課題や見通しが見え翌日につなげることが出来た。また忌憚のない意見交換も出来たので今後も続けたい。</p>   |
| 教諭個人の振り返りと自己研鑽        | <p>府、大私幼主催の研修はもちろん特別支援の研修など、参加可能な園外研修や他園の公開保育などにも積極的に参加するなど自己研鑽の機会を与えることでその成果を期待した。その結果、特に刺激をもらった他園の保育からヒントを得、形を変えて試みるなど成果を得ることが出来た。もう少し伝達方法を充実させ保育により広くより深く活用できるように共通理解を心がけたい。</p> <p>学校評価に先立ち、教師一人ひとりによる園の取り組みへの理解や事故の保育の様子、反省点、課題などアンケートにとり客観的に評価をしている。自己評価の結果を分析することで自身と向き合う習慣が構築しつつあることは次年度にも繋げていけると確信を得た。</p>                  |
| 安全・衛生管理               | <p>前年度同様保育室・園庭など設備全体の安全点検、子ども一人ひとりの登降園時および保育時間中の視診を担当だけでなくフリー教員による二重三重のチェックを毎日することで安心してすごせる環境を保障し、体調不良の早期発見に努めた。が、遊具にぶつかり歯の長期治療を強いられた事例が発生した。保護者対応にも問題を残したのでもう一度教職員の徹底を図りたい。小さな怪我の対応(消毒、薬の塗布、鼻血の処理)などの対応確認を定期的に行う必要がある。</p> <p>感染症ではインフルエンザの流行が激しく素早く家庭への状況伝達、クラス閉鎖などの処置により大事に至らなかった。また感染症の認識、出席停止の共通理解は園と保護者でしっかりと確認することが求められる。</p> |
| 室内環境の見直しと主体的な遊びの展開    | <p>各教諭が工夫して遊びの教材を置くことで子どもが新しい遊びに挑戦したり、遊びこめるヒントを与えることで遊びが継続し、広がることが確認できた。一方、クラスを超え充実感を味わって</p>  |

|                |  |
|----------------|--|
|                | <p>いる姿を園全体にアピールしても、教師によっては良いと分かっている姿もなかなか実践に移せない姿も見られるので課題として次年度に持ち越すこととなった。引き続き全員で継続的な努力が必要である。</p>   |
| 保護者のニーズの把握     | <p>本年度末にもアンケートを実施し家庭での子どもの様子や園の取り組みへの理解や達成度を把握することが出来た。園への要望については次年度園舎の建て替え工事の理解を得るとともに可能な限り改善することを伝え信頼関係を構築していく。自由記述については感謝の言葉が大半で教職員のやる気に繋がった。また建て替えの経緯については可能な限り保護者に説明し、保護者の発案もあり年度末に園舎とお別れ会を催すことが出来た。</p>  |
| 子育て支援の充実       | <p>園庭開放での取り組みの充実を図り、0歳から2歳の親子に短い時間であってもふれあい遊びや動きのリズム、作って遊ぶなど指導案を作りフリー教諭が活躍してくれたので来園の人数も増えた。引き続き次年度も更なる充実を図りたい。</p> <p>行事がある場合も預かり保育を大筋で実施できたので保護者の喜びの声も得ることが出来た。</p> <p>子育てでの悩み、わが子へのかかわり方での戸惑いなど、登降園の際や短時間の聞き取りの場を持つことで事例によっては改めて相談の場を設けるなどの措置をとってきたが気軽に相談でき気持ちが落ち着いたとの声が聞かれたので引き続き続けていきたい。</p> |
| 特別支援教育の充実      | <p>支援を必要とする園児に対し支援教諭を配置し、基本的な生活習慣の習得、運動面、活動面すべてにおいて援助を行った。そのために個別の支援、集団の中での支援に関する手立て、支援の仕方などに関する専門的研修に参加させ、個別の支援計画の策定、個へのかかわり、集団の中での支援を行ってきた。支援教諭も1年間の取り組みを生かし次年度に繋げていく自信も持てたが課題も満載である。</p>  |
| カリキュラムの変更に伴う対応 | <p>変更に伴う保護者の理解は定着したが教職員の意識変革は満足とは言えないのでこの面で研鑽意識向上を図ることが肝要である。</p>  |

#### 4、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

全体避難訓練では、園児、教職員、地域の方、保護者、消防士が、一同に参加でき各教諭が適切、迅速な誘導をし、普段と遜色ない時間で園庭に避難することが出来た。またその際、地域の方は園児をサポートするように園児もそれに応える気配りをなし、危機意識の高揚を感じた。一方前年度の指導、注意事項も改善されたと考えられる。

戸外での遊びは、どの学年も充実していたが、室内での遊びは、まだまだ格差が見られるので教師自身の意識改革はもちろんのこと、今日の遊びの展開の経緯や子どもの姿を情報提供をしあう中でどのような遊びや活動が育ちに効果的に反映されるか見通し、次の手段や方法を工夫していきたい。五領域を踏まえての保育の振り返りは、引き続き行うとともに若手・ベテランに限らず学びあう場を常に持ち子どものためにさらにどうすべきか考える。

保護者への情報提供に心がけたが更に園への理解が得られるよう木目細やかに情報発信をしていくよう努める。

子育て支援については園長、主任が担任を補佐しながらさらに力を入れることで、より良い幼稚園にしていく共通意識を、教職員みんなが確実に高めることで、達成が不十分だった点も踏まえた今後の方向性が明らかになった。

## 5、 今後取り組むべき課題

| 課題        | 具体的な取り組み方法  |
|-----------|---|
| 避難訓練の充実   | <p>訓練の充実はもちろんのこと、自然災害の発生時における園児の安全確保のマニュアル、園児の親への引渡し手順のマニュアルをきちんと作り有事の際に備える。</p> <p>また有事の際、園の考えや安全確保および園児の保護者への引き渡し手順のマニュアルを保護者へも文章で知らせ共通理解を促す。</p>   |
| 保育技術の向上   | <p>次年度も園内・園外の研修へ積極的に参加し、学んだことを的確に伝達し、園全体で保育技術の向上を図る。園内研修については、前年度、効果を挙げたので引き続きビデオの活用をしさらに見えた課題についての論議を活発に行っていく。全ての教諭がスキルアップしていく。</p>  |
| 家庭との連携    | <p>家庭訪問、個人懇談、登降園時や連絡帳を通してのやりとりから家庭の様子、家庭での取り組みや子育て方法を知り、戸惑いやかわり方について気軽に話し合える機会を随時設けていきたい。</p>   |
| 特別支援教育    | <p>引き続き個々の状況や特性を理解し、一対一のかかわりから集団の中でのかかわりへとスムーズに移行できるよう各教諭と支援担当教諭とが連携し、発達段階に応じた対応を検討していく。保護者と関係機関との連携ならびに今後の学校生活にスムーズにつなげていけるよう個別の教育支援計画を立案したい。担任・加配教諭を始め園全体で場面に応じた適切なサポートをすることでより良い発達を促して行く。また保護者には園での様子を伝えたくて家庭での効果的なかかわりを促すなど、園と家庭がともに子どもの特性や姿を理解していけるよう連携していく。</p> |
| 保護者ニーズの反映 | <p>年度末に行っている保護者アンケートで出た要望など実現可能なものは反映し、困難と思われるものについてもより良い方向に近づけられる形で検討していく。</p>   |

## 6、 保護者アンケート結果の主なもの

- \* 子どもの園での生活の様子分かる環境（ホームページの充実、担任以外の先生方からの声掛け、担任との連絡帳利用）が充実しており安心できる。一方バス通園の保護者においては担任との接点が少なく、この点の検討を望む。
- \* 避難訓練ではその都度緊張感を持って参加できたこと、園内防災教育も実施され子ども達が進んで自分を守ることの大切さを学んでいることは評価できる。また告知なしで実施することはより危機意識が高まり、状況判断に繋がるので今後も実施してほしい。今年度は地域の方の参加を得、和やかではあったがしっかりと子どもたちに地域とのつながりが意識できたと思われる。
- \* 園外保育では 子ども達が四季を感じられる遠足が充実しており、家庭では経験できないことを計画され子ども達がいろいろなことに興味関心を深め、豊かな心に繋がっている。
- \* 仕事をしている母親にとって、保育時間外の預かり保育の充実は、ニーズに対応している。
- \* 降園時間が一斉の場合、混み合い危険な状況もあるので学年ごとに迎えの時間をずらせるのも良いのではないか。また兄弟関係では下の学年に合わせていただきたい。
- \* 正門の安全管理においては、常に運転手さんなどが立っていただくなど配慮されているが安易に開いてしまうので不審者の侵入が不安である。次年度園舎建て替えの機に考慮されることを期待したい。
- \* 登降園時どの先生に聞いても質問事項にも応えていただき園として情報の共通理解が確実で安心できる。
- \* 建て替えに対する説明は出来るだけ詳細に保護者が理解できるよう機会を作っていただけるようお願い。
- \* 年度末の保護者アンケートは忌憚なく意見が書け、可能な要望は検討していただけたたり改善していただけたたりと保護者ニーズを把握してもらえるので良いと思う。

## 7、 学校関係者評価

### ①避難訓練

今後の具体的に挙げている方策に即して取り組んでいただきたい。その中で、大きな天災がいつ発生してもおかしくない時代のうえ、当園でも共働き家庭が増えている。緊急連絡網とは別に、一斉に情報が得られるシステム、安否確認システム等の導入も視野に入れて検討いただきたい。

### ②新任・若手教諭の育成および園内研修

教職員の連携ができており、来年度も継続を期待する。

### ③教諭個人の振り返りと自己研鑽

今後も充実した取り組みを期待する。

### ④安全・衛生管理

建て替え工事中に伴い、一層の危険箇所の点検の充実を期待する。

### ⑤室内環境の見直しと主体的な遊びの展開について

改善方策に即して取り組みの成果が表れるよう今後も継続を期待する。

⑥保護者のニーズの把握

今後とも園と保護者間の連携の充実を期待する。

⑦子育て支援の充実

園庭開放での取り組みは着実に成果が認められる。今後ともバス通園の保護者との接点の充実を期待する。

⑧特別支援教育の充実

来年度以降も各教諭・支援担当教諭・保護者の一層の連携の充実を期待する。

⑨カリキュラムの変更に伴う対応

改善方策に即して継続を期待する。

・ベテランの先生が多く、役員として行事のお手伝いしていた際、若手の先生をしっかりとベテランの先生が引っ張っている姿を見て、園としてのまとまりを感じ、安心して子どもを預けることができた。

・年間を通しての行事がとても充実している。動物、自然とのふれあい等、全てが子どもが喜ぶ内容となっており、たくさんの思い出ができた。

・運動会や発表会から日常の遊び（コマ回し、なわとび等）など一人一人熱心に指導していただいた。子どもたちは出来たとあきらめないうで挑戦するという大事なことを学ぶことができた。

・一年を通していろいろな行事、味覚狩りや移動動物園、おもちゃつきなどあまり経験することができないことを体験することができ、家庭でも親子の会話につながった。

・きめ細やかに子どもたちのことをみていただき、また、先生たちの研修など日々熱心に勉強されている点は大変評価できる。

・運動会の練習は校庭で行うことから本番に近い環境の設定を望む。

・園舎お別れ会など保護者の意見を取り入れてもらえることも多かった。

・災害を想定した訓練は豊富だが、保護者が最も不安に思う不審者対応はどの程度想定して行われているかが気になる。危機管理についても保護者と意思疎通を増やしてもらいたい。

・教育目標にあるとおり、同クラス同学年だけではなく園全体でのごっこ遊び等を経験し、小さいお友だちへの思いやる優しい心、お兄ちゃんお姉ちゃんへの憧れを感じ、日々少しずつ成長が見られる。

・目標のある、告知なしの避難訓練は実施されてはいないようだが、訓練を行った日に子どもの話を聞くときちんと理解できるように説明してくれていると感じる。

・遊びの発想については、先生やお友だちと一緒に廃材で色々なものを作っているようで、家でも廃材を見つけると「〇〇作りたい！」「これで〇〇を作れるよ！」と言って、想像して作ることに凄く興味を持ち始めていると思う。

・衛生管理については感染症などの素早い対応、処置ができています。安全管理についても登降園時、車や自転車の通りが多い中、多くの先生が目で見ている。しかし、誰でも簡単に入れてしまう門には今の時代には少し不安が残る。

・毎年、年度末に行われるアンケートにもできる範囲で対応できている。ホームページも充実しているので、普段の保育の様子も少し見え、子どもと一緒に見たときにはその時の楽しい状

況なども話ができる点がよい。

- ・園舎建て替えについては保護者もとても楽しみにしているが、保護者にも新園舎のイメージがつくようにも少し工夫してほしい。

- ・この園の評価すべき点は全ての先生が子ども1人1人のことをよく見ていただき、把握していただいているところである。体調のことなど1人の先生に伝えるときちんの他の先生にも伝達されているところにはとても安心できる。

- ・園生活を1年通してみて、いろいろな季節での味覚狩りの遠足、たくさんの行事、マンモス園とはまた違い、こども一人一人をしっかり近くで見てくれる保育によりいろんな面で子どもの成長を見たり、毎日登園を楽しみにしている子どもを見ると、安心して子どもを預けることができる園だと評価できる。